



高蓋地域のとんど

# みんなの 町議会

 神石高原町



主な  
内容

|                 |    |
|-----------------|----|
| 12月定例議会 .....   | 3  |
| 町長所信表明 .....    | 5  |
| あなたの声を町政に ..... | 6  |
| 元気なグループ紹介 ..... | 16 |

創刊号

2005年2月

# 発行にあたって

神石高原町議会 議長 岡崎 眞

明けましておめでとうございます。昨年末には、神石郡四力町村の合併に伴い、町長・議会議員の同時選挙となり、大変お世話になり、ありがとうございました。

議会広報の発行にあたり議会を代表して、ごあいさつ申しあげます。

議会広報は、議会と町民を結ぶもっとも正確でわかりやすい議会のたよりとして、皆様に期待していただけるよう念じています。

中山間地の神石高原町を取りまく内外の情勢は厳しく、高齢化社会は歯止めなく進行する等課題も多くあります。

我々議員は、この時こそ知恵を出し議論し、政策提言のできるよう研鑽し、皆様のご期待にそえるよう努力しますので、今後共一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 神石高原町

## 議会の構成決まる

議長 岡崎 眞

副議長 藤田 晃己

### 総務企画常任委員会

委員長 村上 克朗

副委員長 佐伯 卓師

委員 小川 清治

委員 小林 貢

委員 矢田貝 克治

委員 藤田 晃己

### 福祉文教常任委員会

委員長 片山元八郎

副委員長 赤木 健二

委員 久保田龍泉

委員 寄定 秀幸

委員 丸山 達夫

委員 岡崎 眞

### 産業建設常任委員会

委員長 松本 彰夫

副委員長 渡邊 俊徳

委員 豊田 耕三

委員 木野山孝志

委員 瀬尾 征爾

委員 小坂 大輔

### 議会広報広聴調査

#### 特別委員会

委員長 松本 彰夫

副委員長 木野山孝志

委員 久保田龍泉

委員 寄定 秀幸

委員 小坂 大輔

### 議会運営委員会

委員長 久保田龍泉

副委員長 矢田貝 克治

委員 小川 清治

委員 赤木 健二

委員 木野山孝志

委員 松本 彰夫

### 広島県北

#### 情報センター組合

#### 議会議員

片山元八郎

### 福山・府中広域

#### 行政事務組合

#### 議会議員

豊田 耕三

# 神石高原町 初議会が開かれる

## 平成十六年度の 暫定予算を承認可決

二〇七件の専決処分された改正  
条例及び新条例を承認可決

### 全員協議会

昨年十二月九日に新町議会議員全員協議会が行われ、新議員の初顔合わせのち、①議会の席順は年齢順に ②常任委員会は三委員会とし、地域バランスの取れた人事にする ③議会広報委員会委員の構成は旧各町村から一名以上とする など決まりました。

### 臨時議会

十二月十五日、十六日に新町初の臨時議会が開かれました。①神石高原町議会会議規則の制定 ②正副議長選挙 ③常任委員会規則及び委員の選任

### 定例会

十二月二十一、二十二日に十二月定例会が開かれました。

①神石高原町役場の位置を定める条例など二〇七件の条例 ②平成十六年度一般会計暫定予算、国民健康保険特別会計な

④議会運営委員会規則及び委員の選任 ⑤議会広報・公聴調査特別委員会の設置 ⑥広島県北情報センター組合議会議員、福山・府中広域行政事務組合議会議員、福山地区消防組合議会議員の選挙 ⑦農業委員の推薦 など

の議案人事が決まりました。

ど八つの特別会計暫定予算 ③神石高原町指定金融機関を福山市農業協同組合とする など合併により旧町村の議会が解散をしているために、合併後新町が発足して議会が開かれるまで職務執行者（岡崎前豊松村長）が

専決処分されていたものを、報告事項として提案され、承認しました。

また、助役、収入役、教育委員会委員及び監査委員（議会選出）、固定資産評価審査委員の選任について同意を求められ、可決しました。

なお、意見を有する監査委員の同意については否決しました。

農業委員（議会推薦）

赤木 照章

伊勢村 正治

小坂 大輔

坂田 富啓

監査委員（議会選出）

瀬尾 征爾

教育委員会委員

渡邊 津多枝

選挙管理

委員会委員

岡 一雄

岩谷 靖行

政宗 武幸

小坂 芙美

助役

上山 実

収入役

佐藤 孝行

固定資産評価

審査委員

高橋 公一

須田 六朗

江草 忠行

川上 忠義

◎「平成十七年度地方交付税所要総額の確保に關する意見書」を提出しました。

# 平成 16 年度予算(一般会計)

## 73 億 5,000 万円



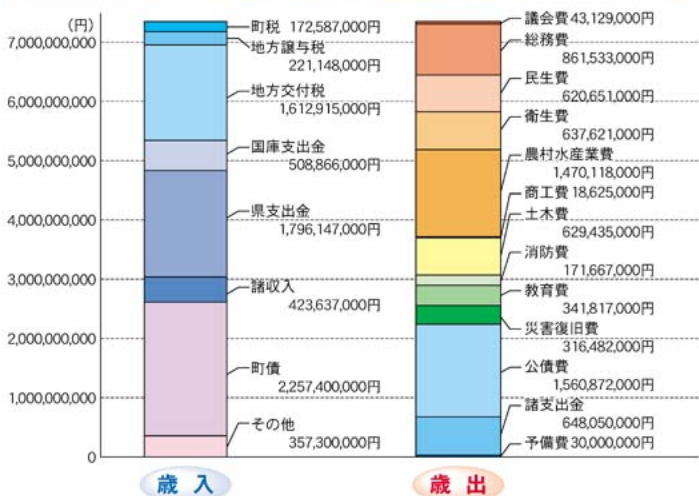
平成十六年度一般会計予算は、合併後の予算であり、多くのものは旧町村の予算を持ち越したものです。新規事業の主なものは

◎総務費

- ・ 公用车庫建設工事
- ・ 庁舎内改修等工事
- ・ 地方バス路線維持経費
- ・ 常備、非常備消防経費
- ・ ふるさとふれあい事業などです。

平成十七年、第一回臨時会が、一月二十一日から、一月三十一日の会期で開かれました。臨時会では、町長の所信表明が行われ、監査委員の選任の同意、平成十六年度神石高原町一般会計予算ほか、八特別会計予算、神石高原町過疎地域自立促進計画、発議による教育基本法の改正を求める意見書の提出が上程され、すべて原案どおり可決されました。

平成16年度 一般会計予算



### 特別会計 …総額 31 億 9,734 万円

|                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 平成 16 年度国民健康保険特別会計予算    | 660,000,000 円   |
| 平成 16 年度老人保健特別会計予算      | 1,260,000,000 円 |
| 平成 16 年度介護保険特別会計予算      | 880,000,000 円   |
| 平成 16 年度簡易水道事業特別会計予算    | 170,000,000 円   |
| 平成 16 年度飲料水供給施設事業特別会計予算 | 94,000,000 円    |
| 平成 16 年度農業集落排水事業特別会計予算  | 131,000,000 円   |
| 平成 16 年度観光施設事業特別会計予算    | 2,300,000 円     |
| 平成 16 年度分収育林事業特別会計予算    | 40,000 円        |

# 限られた財源を 集中と選択で

## 町長 表明 (要旨)



合併後も財政状況は依然として厳しく、「財政改革無くして新町の発展は無い」と考えております。さて私の目指す新町の青写真ですが、「県下で一番住み易いまちづくり」「誰もが住んでみたいまちづくり」を推進いたします。

この目標に向け諸政策なり施策を提案いたします。

まずは新町の一体化を進めるため「信頼と協調」「創造と改革」を基本理念として、既存の行政スタンスの統一、そして一体化を図りたいと考えています。

住民主体による住民本位の行政を推進するため自治振興会の活性化を図り、会の機能充実を促すよう考えております。

また、合併協議会で計画されました建設計画を中心に、限られた財源を「集中と選択」で重点配分して、特色ある地域づくりを町民の皆様と協働で邁進する覚悟であります。

新町建設計画の中では「人と自然が輝く高原のまち」という大きなテーマのもと、住民と行政の協働により、地域の多様な資源を



- 継承した個性的で活力あるまちづくりを推進し、誰もが快適な環境の中で、健康で生きがいのある豊かな生活を営むことのできる新町の実現を目指します。
- 五つの理念**
- 一、高原の特徴を生かした快適で魅力に満ちたまちづくり
  - 二、保健・医療・福祉が充実した安心して暮らせるまちづくり
  - 三、自然と歴史を生かした教育・文化のまちづくり
  - 四、地域資源を生かした活力ある産業と交流のまちづくり
  - 五、交通・情報基盤の整った一体感あふれるまちづくり
- この理念に基づき実現に向けての七カ条を申し上げます。
- 一、自治振興会の活性化に努める。周辺地域における身近な行政サービスを提供する。
  - 二、夢を形に変え、豊かな地域づくりを推進します。地場産業、未来型産業の育成と、地域の活性化を図る。
  - 三、若者の夢をかなえ、高齢者の安心・安全を提供する。子育て・少子化対策に取り組み、医療・福祉サービス充実する。
  - 四、森林文化のまちを造ります。神石高原の文化及び観光の振興を図る。
  - 五、田舎の良さを売ります。に！恵まれた自然を取り入れた、生活圏の推進を図る。
  - 六、より元氣な高原のまちを創ります。
  - 七、未来にはばたく、高原のまちをあなたと一緒に創ります。

## 監査委員の 選任同意

岡崎武志氏の選任に同意しました。

住所 神石高原町草木

一七〇五番地一

## 教育基本法の改正を求める意見書(要旨)

提案者

片山元八郎 議員  
賛成者

木野山孝志 議員  
賛成者

平成十五年三月

月、中央教育審議会は「新しい

時代」にふさわし

い教育基本法と

教育振興計画の

あり方について

を文部科学大臣

に答申し、教育

基本法の改正を

提言した。二

十一世紀を切り

拓く、心豊かた

い日本人を育成

する観点から、

憲法に則った普

遍的な理念は切

実に、世界に貢

献できる日本人

の育成、公共心

、道徳心の涵養

、郷土や国を受

ける教育が、こ

れから教育が目

指すべきときで

ある。よって政

府および国会に

おかれは教育は

わが国社会の存

(反対討論)

松本 彰夫 議員

この件は、与党の中

でも調整がついてい

ない重要な問題で

迅速に結論を出す

べきではない。

誰のための基本法

見直しのかを考える

べきだ。現在の子ども

の問題が、基本法に

起因するかどうか

、どう解決するの

か、示されてない。

この改正は、広範な

議論を進めて結論

を出すべきである。

(賛成討論)

木野山 孝志 議員

「教育」ほど、人間

の諸活動の中で、未

来と関わるものはあ

りません。今年日本

は、選考を迎えまし

た。今こそ、21世

紀を切り拓く心豊

かたで、日本人の育

成を、日本で生まれ

たことを誇りに思

うような、気品あ

る国家として再成

しなければなら

採決の結果、賛成十五、反対二で、意見書は可決しました。

# あなたの声を町政に

十七人が一般質問（議席順）

今臨時議会での質問は町長の所信表明と、十六年度一般会計予算案について、議長を除く全議員が質問に立ちました。

議会運営委員会の中で一人の持ち時間は、質問答弁を含め三十分以内として、議席順に行いました。

議会広報も紙面の都合で一人半ページに制限して載せています。



## 問 財政改革の実行は

### 答 年次計画をたてて実行

**Q** 財政改革なくして町の発展はないと述べているが、具体的な考えは、

**A** 町長 四町村が合併して財政は少しは良くなると思っていたが良くなはな。職員の定数削減・固定費用の削減等年次行財

政改革計画を作成し実行する。

**Q** 五つの柱と七カ条を、また情報、合併協議会、計画された建設計画

を中心に「集中と選択」で十七年度予算編成に当たると表明されているが、町長が一番やりたい、



小川清治 議員

したいことは、

また情報、合併協議会、計画された建設計画を中心に「集中と選択」で十七年度予算編成に当たると表明されているが、町長が一番やりたい、

**A** 町長 わが町の基幹産業である農林業を中心に経済力を高める。

ブロードバンド基盤の整備は新年度で情報通信基盤整備検討委員会を設置し地域間格差のないよう高速インターネット環境の整備をはかる。

## 問 行財政改革への取り組みは

### 答 職員の定数管理と事業の見直しを

**Q** 合併後も財政状況は厳しい状況であり、そのため、行政改革は急務である。具体的な取り組みは。

**A** 町長 年次計画を立て、職員の定数管理を行う。また、非効率な事業については見直しを行う。

具体的にはこれから精査する。

**Q** 本町での大きな課題である、少子化対策、子育て支援の充実について、具体的に。

**A** 町長 子どもの医療費、就学前のいろいろな支援に



久保田龍泉議員

ついて検討したい。保育料については、国の基準よりいくらか下げるよう検討している。

**Q** 旧町村毎に配分する二千五百万円は、特色ある地域づくりを行う上で貴重な財源である。年度末で剰余金が出た

ら、繰越して次年度に使うことができるのか。

**A** 町長 自由に使うことはできない。事業計画を立てて、それに合うものに交付したい。

剰余金はその時点で検討したい。何かなんでも使い切るんだということとは違ってほしい。

## 問 防災対策を進め安心の町づくりを

### 答 防災対策を推進する

**Q** 昨年は豪雨や大型台風、大地震、津波などの大規模な災害が多発した。日本列島は今、地震の活動期に入っていると言われ、不安が募る一方で、安心安全の町づくりのために、防災対策の推進が必要である。我が町の防災対策は。

**A** 町長 安心・安全の町づくりのため、防災会議の実施、建物の耐震化施策を推進する。

**Q** 所信表明の中で、厳しい財源の中「集中と選択」で重点配分するところがあるが、少子化対策に重点を置き、思い切った



寄定秀幸議員

子育て支援を行うことが必要である。町長の考えはどうか。

**Q** 日本の児童・生徒の学力低下が議論されているが、我が町の状況はどうか。

**A** 町長 油木高校の存続こそが本町の存続に大きく関連している。

**Q** また、図書書の充実度と読書に対する取り組みは、川崎教育長

本町の子どもは学力は県レベルより上回っている。図書も基準以上に充実し、図書館の有効な活用、運営が大切だと思う。



## 問 財政改革の実行は

### 答 経常的経費の削減を

**Q** 「財政改革なくして新町の発展はない」私も同感である。新町の誕生を立派に育てる責任は、強く感じている。今回の合併は、様々な制度が疲労を起し、財政の健全化が第一の目的で、財政改革は必然的である。

平成十五年度決算の平均数値を見ても、大変厳しい状況にあり、今後の歳入は減る一方、歳出は増加すると思われる。歳出入の検討はされると思うが、財政比率の数値目標をもつて改革するのか、具体的な方針は。



丸山達夫議員

**A** 町長

合併は財政問題だけでなく、地方分権の受け皿として行われている。財政については税の引上げ等は考えられず、固定費（経常的経費）を下げる事で財政の健全化に努める。

**Q** 勤勉手当について、適正な勤務成績の評定を行って支給しているのか。望ましい事ではないが一律か。

**A** 坪本総務課長

勤務成績に応じた支給となつてはいるが、病気等による長期休暇や欠勤については勘案している。



デイサービスセンターもみじの里（神石）

## 問 滞納の整理は

### 答 解消に向け努力

**Q** 町税、固定資産税、軽自動車税の三税について滞納額が計上されているが、どの程度の収納率で計算された額か。

**A** 前原住民課長

旧四力町村の滞納額を計上している。滞納整理については、支所と連携し、解消に向け努力する。

**Q** 一時借入金の利子を少なくするため、資金繰りにどのような工夫と対策を講じているのか。

**A** 佐藤収入役

旧町村と広域事務組合から引き継いだ借入金が一億七千万円ある。この借入金を少しでも早く返すよう努力したい。



豊田耕三議員



神石肥育センター

## 問 事業選択の基準は

### 答 周辺地域の活性化で町の発展を



赤木健二 議員

チャー（起業）への環境作り。田舎のよさを取り入れた生活圏の推進と、団塊の世代のUターン、Iターンの受け入れ態勢を整え、余生を田舎で暮らせる環境をつくる。

**Q** 町長は所信表明で、「新町建設計画を中心に、限られた財源を（集中と選択）で重点配分して特色ある地域づくり」と言われているが、建設計画にのせているものは、どれも必要性和緊急度の高い事業ばかりである。その選択の基準は。

次に、理念に沿った五つの政策の柱を立て、その実現に向けて「私の七カ条」を示している。

その第二条に地場産業、未来型産業の育成をあげているが、未来型産業とはどのような性質のものを視野に入れているのか。また、第五条に田舎の

よさを取り入れた、生活圏の推進を図る」とあるが、具体的にはどういうことか。

**A** 町長 選択基準は、住民本位で福祉の増進と町の発展を第一に考える。未来型産業とは、新たに低資本で起こせるベン

**Q** 周辺地域の充実が町の一体化につながる、発展の基礎になるのでは。

**A** 町長 周辺地域の底上げ、活性化なくして町の発展はないと思っている。

## 問 地域格差是正の予算配分は

### 答 予算の配分を考慮したい

**Q** 合併前、旧町村においては、それぞれ重点施策の違いもあり格差がある。新町で地域格差のない一体的な発展のために、予算の配分をすべきではないか。

**A** 町長 地域的に格差のある施策については、一体化のため予算の配分を考慮

したい。

**Q** 本町の主要な財源である地方交付税の減額も予想され、自主財源の少ない本町では財源確保が厳しいが、どう取り組むのか。

**A** 町長 自主財源を増やす事は至難であり、国県へ要

望し財源確保に努力したい。



佐伯卓師 議員

**Q** 子育て支援、少子化対策など若者定住対策の取り組みは。

**A** 町長 旧町村の施策も一部取り入れ、新年度で新しい施策を考えて取り組む。

**Q** 旧町村にはそれぞれ独自の施策もあり、特色ある町づくりをしていたが、新町では特色ある町づくりをどう進めるのか。

**A** 町長 本町の基幹産業である農林業の振興と、福祉の充実など地域の特性を活かした町づくりを進める。



こばけ保育園園児



初日の出の集い（小野地区）

## 問 住民参加のまちづくりは

### 答 特色ある地域づくりを

**Q** 所信表明の中に、新町の一体化を進めるため「信頼と協調」「創造と改革」を基本理念として、とあるが、そのためには、情報を行政と町民とが「共有」しなければ、行政の「信頼」につながらない。情報の開示についてどう取り組む

か。  
また、新町建設理念実現のために「自治振興会の活性化に努める」とある。いま、福山地域事務所地域営農課から、集落点検・集落ビジョンの実施の指導が行われており、これは地域のみならず、自分たちの地域を自分



木野山孝志議員

たちの目で見て、足で歩いて、みんなで考え地域づくりを行うものである。この集落ビジョンと自治振興会活性化を通じてのふれあい事業とを合体した形で、まちづくり事業を新規に予算化する考えは。

**A** 町長  
情報の共有は大変重要と考えている。できるだけ細部に亘って公開したい。  
また各振興会の特色ある地域づくりに制限をかけないように注意しながら、住民参加のまちづくりのためのシステム作りを取り組みたい。



活性化情報センター（池木）

**Q** 「県立神石三和病院」の移管問題が再浮上するのではと思われる。積極的に存続を訴えるべきではないか。  
**A** 町長  
県立病院が存続するよう取り組む。  
しかし県の病院事業局長が、瀬戸田病院の移管が終わったら、神石三和

## 問 県立神石三和病院の存続は

### 答 存続に向け努力する

病院の移管に取り組むと言われた。厳しい状況ではあるが、存続に向け努力する。

**Q** 高速インターネットの整備は不可欠と言われているが何年の接続を目指すのか。  
**A** 町長  
情報通信等整備検討委員会の設置が予算化され



松本彰夫議員

ているが、商工業者の代表を委員に加えるべきではないか。

**A** 町長  
接続の時期は早い方がよい。方法などについて委員会検討してもらう。

委員会には商工業者の代表も入ってもらう。



大根まつり（坂瀬川）

**Q** 本所・支所機能・職員の配置など二カ月が経過し、どのように考えているか。  
**A** 町長  
本所・支所機能の充実を図り、超過勤務も正常な状態に戻すため、新年度で機構を見直す。

## 問 新町はどう変わるのか

### 答 具体的には新年度予算で



村上克朗 議員

**Q** 合併によりまちがどう変わるのか、どんな夢がえがけ、希望が持てるのか、町長の政策に期待している。

「財政改革無くして新町の発展は無い」と言うが、少子高齢化が進んでいる状況では、国は介護保険制度の安定に向け出来るだけ、介護が必要なる

状態にならないよう、予防を重視したシステムへ転換している。本町の行動目標は見えにくい。

「具体的な施策で住民が「やる気」になれる方針は。新町建設計画と過疎自立促進計画は重なる事業もある。建設計画に基

「やる気」になれる方針は。新町建設計画と過疎自立促進計画は重なる事業もある。建設計画に基

「県下で一番住み易いまちづくり」の推進では抽象的な形容詞で、住民が理解でき「やる気」になる行動目標を

表し、町長は職員に物事の要求に「できないではなく、プロの行政職員として、できる方法を探してくれ」と号令をかけ続けて、諸々の行政課題や特色ある地域づくりを町民と協働で進めるべきでは。

「県下で一番住み易いまちづくり」の推進では抽象的な形容詞で、住民が理解でき「やる気」になる行動目標を



パワーリハビリ (豊松)

## 問 行財政改革の実行は

### 答 新年度から着手する



瀬尾征爾 議員

**Q** 行財政改革の先ずなすべきことは「行財政改革大綱」の策定にあるか。

大綱の柱である「職員定数管理計画」の策定については。

簡易水道等、企業会計に一般会計から必要以上に繰り出している。独立採算制からして健全化すべきではないか。

新年度に報酬審議会に諮問したい。

農業の未来型は個人経営が主流でなく、集落営農・担い手組織営農だと言うが。

**A** 町長 「行政改革なくして新町の発展はない」と明言したのは、その策定を想定したものである。

類似団体に比べ倍近い職員数で、この削減を命題と思っている。

必要以上の繰り出しは企業会計とは言えない。

財政状況が大きく変わる中、建設計画が実行できるか検証する資料として、十一年の財政推計資料の提出を求める。

国の施策もその方向で、法人化をすすめる、行政も指導・支援し、集落の崩壊を防ぎたい。

い。実態を把握し、健全経営を目指したい。

町長 事務当局から提出させる。



だらの芽栽培 (豊松農業公社)

「行政改革なくして新町の発展はない」と明言したのは、その策定を想定したものである。

類似団体に比べ倍近い職員数で、この削減を命題と思っている。

必要以上の繰り出しは企業会計とは言えない。

財政状況が大きく変わる中、建設計画が実行できるか検証する資料として、十一年の財政推計資料の提出を求める。

国の施策もその方向で、法人化をすすめる、行政も指導・支援し、集落の崩壊を防ぎたい。

## 問 特色ある新町へ

### 答 基本的に賛成

**Q** 「子育て支援が充実したまちに結婚祝い・誕生祝い金等、祝い金ももらえるからそうすると言うものではない。もっと視点を変えて、幼児から義務教育期間の医療費の無料化を、託児所の開設整備を・放課後・休日・休暇時の学童保育の充実を等、若者が安心して子どもを産み、安心して仕事に専念しながら子育てができる環境づくりを、乗り合いバスの運行地域が限られ、高齢者・障害者の通院・通所・買物



小林 貢議員

便・社会参加がさげられている地域はないか。またその頻度、間隔が十分ではないか。全町民が公平平等に移送サービスが受けられる事が大切で、このサービス低下は断じて許せない。業者の協力も得ながら、スクールバス単用でなく、総合的多目的運用で、生活交通確保体系を確立すべきでは。

**A** 町長

若者定住促進・少子化対策には既存のものを見直し、メリハリ・インパクト等、特色のある施策を検討したい。考え方には賛成だ。

総合的なバス運用についても、住民の身近な行政サービスのために、企画課で検討させたい。



小島市街地

## 問 新町の一体化は

### 答 行政スタイルの一体化を図る

**Q** 基本理念に「新町の一体化」を掲げているが、合併後遺症ともいうべき、町民間に生じた亀裂の修復をどうするか。

**A** 町長

亀裂とは捉えていない。選挙戦は、三者が持論（政策）を展開したままで、旧町村の行政スタイルの一体化をはかる。

**Q** 県立病院存続のための「合併協議確認書」の文言を白紙に戻し、破棄すべきでは。

**A** 町長

存続を強く願うが、県の意思は極めて強い。白紙に戻そうが、戻すまいが関係ない。病院事業局長が来町し、「地元拒否」でも「引き上げ」を



片山元八郎議員

明言、議会の知恵と力を借りて、存続に向けた新たな運動を展開する。

**Q** 「小島バイパス」「宮谷川砂防事業」の早期完成に向けての取り組みは。

**A** 町長

両事業とも、ほぼ順調に推移。「小島バイパス」全長一、八〇〇メー



学童保育 (畑木)

トルのうち、第一期工事は用地取得が、一部の地権者の了解が取れていない。

「宮谷川砂防事業」は、近々現場説明の予定である。

**Q** 「油木町史」分の予算を約二千万円組んでいるが、平時でなく非常時なので納得できないが考えは。

**A** 町長

この予算は、旧油木町が予算化したものである。

## 問 県立神石三和病院の存続を

### 答 存続に向けて努力

**Q** 合併協議では、神石郡四力町村合併に関する協議調整等確認書に、県立病院を公設民営方式で、民間医療機関に管理委託することに調印している。

このことは、町民の間で大変な話題となり、大きな不安を与えた。特に高齢者にとっては医療機

関も少なく、交通手段の悪い本町において、医療・福祉サービスの充実を図るには、現県立病院を存続すべきであるが、町長の考えは、

**A** 町長

公式な見解ではないが、県としては経営のあり方については検討課題である。ちなみに会話の



渡邊俊徳 議員

中で地元移管を拒否したら引き上げるとの強い姿勢がみられた。

存続に向けての運動はこれからである。存続を含め、福祉・医療の充実を図る。

**Q** 合併直後であり、超過勤務の発生は止むを得ないが、十六年度予

算において、五千七百四十八万円は多いのではないかと。

職員の業務意欲と健康管理には十分配慮をすべきでは。

**A** 町長

多いと思うが、合併当初であり、やむを得ない部分もある。

機構改革も含め、本所・支所、各課の適正な職員配置を行い、新年度予算に反映したい。



## 問 未来型産業の育成は

### 答 新年度予算で努力する



矢田貝克治 議員

**Q** 神石高原町も大変な高齢化社会を迎え、高齢化率は四〇・九%となった。若者に夢と希望をもたせる産業の育成こそ、地域の活性化につながる。

本町は、農業が大事な産業である。年間を通じて働ける施設園芸、果樹

栽培等ふくめた農業経営を通して都市との交流を目指し、新風の吹く農業の振興に力を入れる事が大事なのでは。

**A** 町長

豊松地域は、トマト栽培産地であり、町内どこでもトマトや野菜の栽培は可能で、気候風土に

も適した地域である。施設を促進し、十分とは言えないが新年度予算で効率ある編成に努力したい。



都市との交流（豊松）

## 問 農地保全の対策は

### 答 担い手の育成を

**Q** 債務負担行為によるほ場整備をされたが、現在では荒廃地も目立っている。

高齢化が進む中、担い手の育成をどう図るのか。

また、集落営農・生産法人の組織化・農業公社の位置づけは。

集落の崩壊を防ぐためにも農地保全の対策が必要では。

**A** 町長

畑は殆ど荒れている現状だ。今までは農林業の振興で農地保全を行っていた。高齢化が進み担い手が減少する中では農地保全も困難となり、集



小坂大輔 議員

落営農や、農業公社が全てではないがひとつの方法である。

農地の荒廃は集落の崩壊につながるもので、集落営農などにより農地の保全に努力する。

## 問 住宅用地の建設を

### 答 前向きに検討する

**Q** 井関にある旧三和町において取得した町有地四・四ヘクタールは、立地的にも神石高原町の玄関口であり、国道にも近く、将来有望な土地である。

若者定住対策としての住宅地として活用し、また定年退職者の住宅地としても福山通勤圏内であ

り最適な土地である。神石高原町発展のために有意義な活用すべきでは。

**A** 町長

この土地は国道にも近く利便性の高い土地なので、一般住宅としても可能な環境にある。

団塊の世代、また退職者のイターン、Uター

ンの住宅として、本町に定住してもらう事もできる。四・四ヘクタールもあれば、菜園付の住宅も可能であり、本町の財産でもあるので、有効に活用したい。



藤田晃己 議員



農地保全共同作業



町有地（井関地区）



ワインズコートホテル

十五年以上在職者表彰  
前油木町議会議長 清川 満  
前油木町議会議員 森上 忠俊  
神石高原町議会議員 松本 彰夫

特別功勞表彰  
元三和町議会議長 樋原 敬司

全国議長会  
自治功勞表彰を受賞

一月二十八日広島市において多年にわたって、町議会議員として地方自治の振興発展に貢献された方の表彰が行われました。  
本町の受賞者は次の方です。

## 特別会計に対する質問

# 観光施設事業 特別会計

## ワインズコートホテルの運営は

松本 彰夫 議員

質問⇒ホテルの買収について不信感を持っている人が多い。町の一体感を持つためにも、早く不信感を払拭させるべきだ。町長は引き継ぎをどう受けているのか。今後のホテルの運営の方針は、月額百六十八万円の賃貸料は納められているのか。町長⇒引き継ぎは受けていないが、大体の輪郭は理解できた。売買契約は十月一日、議会の議決は九月二十六日に行われている。買収財源は全額JA福山市からの借り入れである。この償還は、月額百六十八万円の賃貸料をあて、二十年間で償還する。百六十八万円の根拠は分からないが可能だと思う。今後順調に運営

されなければ財政に負担がかかる恐れがある。質問⇒契約の内容を見ていないが町が経営に立ち入ることができているのか。また、町の監査委員が経営内容をチェックできるのか。町長⇒町がホテルの運営に立ち入るのは難しいが、運営の協力、指導は行っているが、修理の負担は決めているが、修理の負担は決めているのか。施設



広報委員

## 議会のうごき

(2月)

|     |                     |           |           |
|-----|---------------------|-----------|-----------|
| 1日  | 綾上町行政研修時局講演会        | 議長        | 長         |
| 3日  | 福山地方監査總會            | 監         | 長         |
| 4日  | 芳井油木線要望<br>広報委員会    | 副 議 長     | 副 議 長     |
| 7日  | 決算監査                | 監         | 査         |
| 9日  | 決算監査                | 監         | 査         |
|     | 広島県立病院協議<br>議会運営委員会 | 福 社 文 教 員 | 福 社 文 教 員 |
|     | 広報委員会               | 福 社 文 教 員 | 福 社 文 教 員 |
| 10日 | 決算監査                | 監         | 査         |
| 14日 | 決算監査                | 監         | 査         |
| 15日 | 現地調査                | 監         | 査         |
| 16日 | 現地調査                | 監         | 査         |
| 17日 | 現地監査                | 監         | 査         |
| 18日 | 臨時議会                | 監         | 査         |
| 21日 | 例月監査                | 監         | 査         |
| 22日 | 決算監査まとめ             | 監         | 査         |
| 25日 | 県議長会総会              | 監         | 査         |



# グループ紹介

高蓋地区の有志の皆さんが、昭和五十年代初めから途絶えていた田舎芝居

居を復活させました。今回は、その「やまなみ劇団」を紹介します。



町おこしの一環として田舎芝居を復活しようとして、「町おこし田舎芝居実行委員会」を設立し、会員を募集しました。その結果、四十八名の会員が集まり「やまなみ劇団」の結成ができました。

昨年十月十六日「三和総合センター・やまなみ文化ホール」で、四百六十名のお客様を迎えて第一回公演を盛会に実施する事ができました。

役者、裏方それぞれが職業を持ち全員揃っての練習は不可能ですが、苦勞もありますが、団員一同練習にはげんでいます。

その後、公演の依頼も受け、出演しています。

現在の演目は「勘太郎月夜唄」ですが、これから新しい演目に取り組み、レパートリーを広げ先輩諸氏が残された伝統を引き継ぎ「文化の里・高蓋」の名に恥じぬよう、皆様に愛される劇団として頑張りますのでご支援ください。

町おこしの一環として田舎芝居を復活しようとして、「町おこし田舎芝居実行委員会」を設立し、会員を募集しました。その結果、四十八名の会員が集まり「やまなみ劇団」の結成ができました。

昨年十月十六日「三和総合センター・やまなみ文化ホール」で、四百六十名のお客様を迎えて第一回公演を盛会に実施する事ができました。

役者、裏方それぞれが職業を持ち全員揃っての練習は不可能ですが、苦勞もありますが、団員一同練習にはげんでいます。

その後、公演の依頼も受け、出演しています。

現在の演目は「勘太郎月夜唄」ですが、これから新しい演目に取り組み、レパートリーを広げ先輩諸氏が残された伝統を引き継ぎ「文化の里・高蓋」の名に恥じぬよう、皆様に愛される劇団として頑張りますのでご支援ください。

町おこしの一環として田舎芝居を復活しようとして、「町おこし田舎芝居実行委員会」を設立し、会員を募集しました。その結果、四十八名の会員が集まり「やまなみ劇団」の結成ができました。

現在の演目は「勘太郎月夜唄」ですが、これから新しい演目に取り組み、レパートリーを広げ先輩諸氏が残された伝統を引き継ぎ「文化の里・高蓋」の名に恥じぬよう、皆様に愛される劇団として頑張りますのでご支援ください。

町おこしの一環として田舎芝居を復活しようとして、「町おこし田舎芝居実行委員会」を設立し、会員を募集しました。その結果、四十八名の会員が集まり「やまなみ劇団」の結成ができました。

田舎芝居二十八年ぶり復活

「やまなみ劇団」を結成

高蓋地区の有志



町おこしの一環として田舎芝居を復活しようとして、「町おこし田舎芝居実行委員会」を設立し、会員を募集しました。その結果、四十八名の会員が集まり「やまなみ劇団」の結成ができました。

現在の演目は「勘太郎月夜唄」ですが、これから新しい演目に取り組み、レパートリーを広げ先輩諸氏が残された伝統を引き継ぎ「文化の里・高蓋」の名に恥じぬよう、皆様に愛される劇団として頑張りますのでご支援ください。

町おこしの一環として田舎芝居を復活しようとして、「町おこし田舎芝居実行委員会」を設立し、会員を募集しました。その結果、四十八名の会員が集まり「やまなみ劇団」の結成ができました。

現在の演目は「勘太郎月夜唄」ですが、これから新しい演目に取り組み、レパートリーを広げ先輩諸氏が残された伝統を引き継ぎ「文化の里・高蓋」の名に恥じぬよう、皆様に愛される劇団として頑張りますのでご支援ください。

町おこしの一環として田舎芝居を復活しようとして、「町おこし田舎芝居実行委員会」を設立し、会員を募集しました。その結果、四十八名の会員が集まり「やまなみ劇団」の結成ができました。

現在の演目は「勘太郎月夜唄」ですが、これから新しい演目に取り組み、レパートリーを広げ先輩諸氏が残された伝統を引き継ぎ「文化の里・高蓋」の名に恥じぬよう、皆様に愛される劇団として頑張りますのでご支援ください。

編集後記

神石高原町が誕生して三カ月が過ぎようとしています。

新しい議会の体制も決まり一丸となって住みやすい町づくりに向け、取り組む決意です。

私たち、五名の委員で新町の議会広報を担当することになり、ようやく創刊号を発行する事ができました。

「早く、正確に読みやすく」をモットーに編集したいと思えます。

今回は十七名の議員が町長の所信表明に対して質問を行いましたので、二人でページの割り当てとなり、要点のみの編集となりました。

初めての編集で、四苦八苦した割には、皆さんに親しまれる議会広報の編集に向け努力しますので、ご意見、ご感想をお聞かせください。